

『源氏物語』の心を読む

～螢・とこ夏・かがり火の巻～

開講計画 (全11回／各90分)

回	日付	曜日	10:30～12:00
1	9/4	水	螢兵部卿の宮、玉鬘に執心する
2	9/18	水	兵部卿の宮、玉鬘と詠歌する
3	10/2	水	六条院の馬場での騎射
4	10/16	水	源氏、花散里のもとに泊まる
5	10/30	水	源氏、玉鬘に物語を論じ、物語にかこつけて言い寄る
6	11/6	水	源氏、豊居の厩に恋する夕霧を見抜き、明石の姫君に親しませる
7	11/20	水	源氏、玉鬘と和琴談議をする
8	12/4	水	源氏、玉鬘と歌を詠みあい、恋情に苦しむ
9	12/18	水	源氏に張り合って、内大臣、近江の君を探し出して引き取る
10	1/22	水	近江の君の滑稽さ
11	2/19	水	源氏、かがり火にたとえて、自身の玉鬘への恋情を訴える

受講料 17,600円(教材費別)

定員 35名

作品に感動するひとときを、心の糧にしましょう

はじめに、活字のテキストをわかりやすい現代語にして解説します。その後で、くずし字の原文を皆さんと一緒に大きな声で斉読します。

源氏はすでに太政大臣であり、政治家としては最高位になっていて、政権基盤は安定しています。しかし、家庭内では実の息子夕霧と実の娘明石の姫君以外に、養女が二人もあり、それぞれの父親として、気配りをするよい父を演じます。しかし、よい父ではありますが少し行きすぎていて、子供達を困らせる父でもあります。中でも養女の玉鬘には昔の夕顔のことが忘れられず恋情をいだき恋を告白したりして、玉鬘は悩みながら源氏と親しく振る舞っていきます。そのような玉鬘の賢明な振る舞いによって、源氏の家庭の崩壊はまぬがれます。

講師

本学名誉教授

うめの
梅野 きみ子

テキスト・教材

初回教室にてテキストを販売します。お持ちでない方は、講座申し込み時に注文してください。テキスト以外に、他の本の持込み可。

- ① 宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語 螢』
出版社:新典社 著者:安川定男 金額:650円+税
- ② 宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語 とこ夏』
出版社:新典社 著者:橋本不美男 金額:800円+税
- ③ 宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語 かがり火』
出版社:新典社 著者:今泉忠義 金額:500円+税

- ④ 仮名変体集
出版社:新典社 著者:伊地知鐵男編 金額:350円+税
- ⑤ 新潮日本古典集成『源氏物語 四』
出版社:新潮社 著者:石田・清水校注 金額:3,888円+税

※①②③は必須、④⑤は任意 ※2019年1月現在